
身体検査

ペンペン草

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

身体検査

【Nコード】

N6944D

【作者名】

ペンペン草

【あらすじ】

高校生貴史と親友の浩とが学校で身体検査の日に

今日は身体検査の日

朝7時、母

「貴史、早く起きなさい。学校遅刻するわよ。」貴史は

「わかったよ」そういいながら起きて風呂場に向かう。いつものようにシャワー。シャワーが終わると部屋に戻って着替えた。そうだが今日って身体検査があるんだ。パンツ何穿いて行こうかな。いいやあ、穿いて行こうつと。貴史はブリーフを穿きすぐさまにワイシャツを着てズボンとソックスを穿き下へ降りて行った。母は早く食べて、もう遅いんだから。急いで朝食を食べてチャリで学校に向かう。学校に着くと仲良しの浩が

「おう、貴おはよー、お前今日身体検査があるんだぞ」貴史

「ああ、わかつてるよ」しばらくしていよいよ身体検査の時間がやってきた。校内放送で

「これから身体検査を行います。保健室に行つて下さい」貴史と浩は保健室に……。二人は制服を脱ぎはじめた。浩が

「貴史、お前今日はブリーフ穿いてるじゃん。」貴史は浩に

「ブリーフ穿いてると悪いのかよ。」浩

「悪かねえよ。悪かねえけど今どきブリーフはなあ。それにお前さあ、勃つてきてるし。」貴史

「勃つてなんかねえよ」浩

「勃つてるじゃん」浩はいきなり貴史の股間に手をやり

「ほら、勃つてるじゃん」貴史はどうすることも出来ない状態だった。浩は貴史のブリーフの前開きのところをゆっくり揉みはじめた。気持ちがいいのか

「あつ、あつ、あつ」浩は

「お前さあ、気持ちいいだろ」貴史は浩のされるがままになっていった。浩

「貴史、気持ちいいだろう」貴史はあまりの快感に堪えきれなくて

いた。
「あつ、あつ、ダメ、ダメっ」貴史のブリーフはテントを張っていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6944d/>

身体検査

2010年12月16日02時47分発行